関西佐賀県人会「集まろう！佐賀んもん」会報

令和3年（2021年）3月15日発行　第12号

発行　関西佐賀県人会事務局
530-0001　大阪市北区梅田
1-3-1-900
大阪駅前第一ビル9F
佐賀県関西・中京事務所内

関西佐賀県人会「創立70周年記念式典」開催日を順延！

コロナ禍により6/27（日）開催を10/31（日）に変更します！

創立70周年の大きな節目を迎えました。

「新型コロナウイルス」が全世界に蔓延し、この1年、大変な生活環境の変化に遭遇致しました。

コロナ感染はまだまだ終息の見通しがたっておりませんので、6月27日に予定しておりました開催を順延し、10月31日に日程を変更いたしました。

マスク着用が解除された状態で、皆さんと集えることを念願して「創立70周年記念式典・ふるさと交流会」を開催すべくその準備を進めて参ります。

詳細は追ってご案内いたします。乞うご期待！

◆ と き　令和3年10月31日（日）
10:30～15:00（9:30～受付開始）
◆ ところ　「ホテル阪急インターナショナル」
大阪市北区茶屋町 19-19
TEL（06）6377-2100

第1部

創立７０周年記念式典と総会

- 創立70周年を迎えて～ご挨拶と祝辞
- 感謝状贈呈
- 祝米寿・傘寿・喜寿・古希・還暦、記念品贈呈
- 令和2年度、3年度の年次総会
- 新役員の紹介

第2 部

集ろう！佐賀んもん～ふるさと交流会

- 祝宴～詩吟
- 鏡割り～ふるさと佐賀の酒でカンパイ！
- 歳女歳男集れ！～記念品贈呈
- 隠し芸大会
- お楽しみ抽選会
- 参加者全員に当たるお楽しみ福袋！

目次

・創立70周年記念式典・ふるさと交流会開催……… 1
・会長、佐賀県知事ご挨拶……… 2
・臨時役員会開催……… 3
・正副会長会議開催……… 5
・ご協力金ご芳名……… 7
・寄稿:ふるさと紹介……… 8
・寄稿:葉隠と武士道……… 9
・寄稿・小楠公と佐野常民の博愛精神……… 10
・スポーツ振興・高校駅伝大会……… 11
・スポーツ振興・鳥栖工高からのお礼状……… 12
・スポーツ振興・高校ラグビー大会……… 13
・スポーツ振興・佐賀工高からお礼状……… 14
・佐賀県関西・中京事務所からのお知らせ……… 15

実現したい「70周年記念式典」

会長　八田信男

２月中旬よりワクチン便が欧米から続々と到着、我が国ではワクチンの接種が開始されています。また、欧米諸国ではワクチン接種のお陰で感染率が激減、春の到来に向けて気温も上昇基調にあり、先進国間ではコロナ禍が徐々に下火になりつつある気配です。と同時に、我が国政府も今年のオリンピックを成功させるべく、国を挙げて組織委の橋本新会長の下、全国のアスリートを含め準備のラストスパートの段階に入った様子です。

また、大阪万博２０２５に関してはそのテーマ、“いのち輝く未来社会のデザイン”に向けて、着々と準備が進められています。更に海外に目を向けますと、アメリカでのバイデン新大統領の就任や、つい先日の大坂なおみ選手の全豪オープンテニス大会優勝など、明るい話題にも事欠きません。

一方、我が故郷佐賀に目を向けますと、２０２４年の旧称佐賀国体が、“佐賀国民大会”及び“全国障害者スポーツ大会”と名を変えて、アリーナや各種施設の新設や拡充が着々と進められています。

また、佐賀県庁におかれましても、このデジタル変革の時代に向けて、ＩＴなどハイテクの分野において佐賀県下への企業誘致に拍車が掛かっています。

さて、我が関西佐賀県人会に関しましては、本年６月２７日開催について、去る３月６日、正副会長会議を開催し、現況に鑑み会員の皆様の安全・安心を考慮し、秋の１０月３１日に順延することを決議致しました。コロナ禍も完全に終息していることを念願して、「創立７０周年記念の集い」で皆様の元気なお姿を拝顔すべく、役員一同仕切り直しをして準備を進めて参る所存です。

おいしさと健康
Glico
CRATZ
<クラッツ>
カリッと
濃い旨み
(ペッパーベーコン)
(枝豆)
(濃厚コンソメ)

「想像力・構想力・団結力」

佐賀県知事　山口祥義

県民の尊い命と向き合い続けた昨年。今を生きる自分たちが未来を創るのだと思いを強めた1年でした。

歴史を振り返れば、佐賀藩第十代藩主・鍋島直正は、天然痘に苦しむ人々を憂い、オランダから取り寄せた種痘を自らの世継ぎへ接種することでその信頼性を全国へ伝え、多くの命を救いました。人に寄り添い、広い視野で先々を見据え、新たな時代を切り拓いた先人たちを心から誇りに思います。

未曾有の危機を乗り越える強い気持ちは、今、新たな出会いを生み、人と人とをつなげています。昨年、コロナ禍で国民体育大会・全国障害者スポーツ大会が中止となった鹿児島県。同朋の痛みを分かち合いたいと決定した佐賀大会「SAGA2023」の1年延期と鹿児島大会の2023年開催決定は、かつて佐賀藩と薩摩藩が競い合い科学技術の力を高めたように、「双子の大会」として新たな絆を深め、ともに盛り上げていこうと準備を加速しています。

こんな時だからこそ----

「オープンエア佐賀」は、そんな思いから始まりました。どこまでも広がる大空のもと、新たな観光スタイルとして、伸び伸びと育つ子育て環境として、また、自分らしく働くワーケーションの場として展開。西日本最大級のアウトドアパーク「フォレストアドベンチャー・吉野ヶ里」や、Wifi環境を備えた波戸岬キャンプ場など、自然と調和した心地よい環境をつくりあげ、県内外からの皆様をお迎えしています。

また、全国に先駆けた歩道空間活用の社会実験「SAGAナイトテラスチャレンジ」は、コロナ禍での飲食店の密を解消するとともに、このまちでまた頑張ろうという機運にもつながっています。

様々な困難があっても、色んな幸せのかたちを、手を取り合って創り上げていきたい。

時代は変わり、まちは変わっても、人の温かさは変わらない。

今を懸命に生きる人たちの暮らしに想像力を精一杯働かせ、既存概念にとらわれない構想力をもって、チーム佐賀/オール佐賀で進んでまいります。

県人会会員の皆様におかれましても、お元気にお過ごしいただきますとともに、本年も、佐賀県への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和２年度臨時役員会を開催

去る 12 月 6 日（日）「大阪ガーデンパレス」において、令和 2 年度の臨時役員会が開催されました。本年度は「新型コロナウイルス」感染拡大のため予定していた懇親会を中止し、全員マスク着用の上、会場受付では体温の確認と手指消毒を行う等、万全の対応をしての開催となりました。

臨時役員会の冒頭に八田会長は開会の挨拶で、全国的にコロナ感染拡大の最中にある中、ご参加頂いた役員各位に感謝の気持ちを述べられた後、来年 2021 年は関西佐賀県人会として記念すべき創立 70 周年を迎える事に触れ、事務局をはじめ正副会長会議でその準備を進めている「創立７０周年記念事業」を役員全員の協力でもって是非とも成功させたいので、皆さんのご協力・ご支援をお願いしたいと呼び掛けられました。

本題に入り、松尾専務理事から次の７項目の議題について、報告と提案がなされ、審議の結果、異議なく満場一致で承認頂きました。

(1) 役員人事について

1）辞任申出（3名）

常任理事：八頭司幸光様

理事：藤野千代磨様

理事：峰下　順三様

2）新任役員就任（６名）

常任理事：吉松誠一郎様・佐賀新聞大阪支社長

常任理事：吉原　修様・佐賀県関西・中京事務所長

理事：木寺隆幸様・京都佐賀県人会会長

理事：山岡茂年様・西濃エキスプレス㈱参与

理事：川崎雅樹様・美容室経営

幹事：古賀鉄舟様・佐賀市出身

６名の新役員の紹介のあと、承認されました。

(2) 令和２年度の事業（中間）報告

(3) 令和２年度上半期の会計収支報告と監査報告

質疑のあと、相良広基監査役より監査報告がなされました。

(4) 創立７０周年記念事業について

1）「創立 70 周年記念の集い」開催企画
2021 年 6 月 27 日（日）開催予定（会場：大阪・阪急インターナショナルホテル）

2）２０年以上関与の現役員を対象に感謝状を贈呈する。

3）創立 70 周年記念誌『関西の地で支え合った７０年』の編纂企画について

★発行部数 1,000 冊・記念の集い開催後にお届けする。

★配布先

①役員・特別会員・会員（式典出席者）

②佐賀県の 10 市 10 町

③寄贈品提供企業様

④広告協賛企業様

TORISHIMA
Let's ポンプdeエコ
トリシマのマスコット「トリポン」

ポンプもエコで選ばれる時代です。
積極的に省エネを追求したトリシマのポンプは、各種プラントの消費電力とCO₂の削減に大きく貢献しています。

株式会社 酉島製作所 本社（大阪府高槻市）佐賀支店（佐賀市）
株式会社 九州トリシマ（武雄市）

JA 佐賀県農業協同組合
届けたい笑みがこぼれる佐賀の味
さがびより

〒840-0803
佐賀県佐賀市栄町3-32
TEL.0952-25-5176
FAX.0952-26-8264

⑤その他

★誌面＝Ａ４版・約１３０頁（ﾌﾙｶﾗｰ）

★編集責任者＝松尾正隆（専務理事）

編集委員＝於保博幸・木山幸一
（広報副部会長）

★誌面構成

①未来永劫の存続発展を期して

②関西の地で支え合った７０年のあゆみ

③事実に基づく、データは語る

④記念誌発行・協賛広告の御礼

協賛広告の誌面は次の５種を設定

A	全面広告（Ａ４）	協賛金	５万円
B	1/2 誌面広告	同	３万円
C	1/4 誌面広告	同	２万円
D	名刺広告	同	１万円
E	ご芳名広告	同	５千円

D，Eの誌面は、現職役員および特別会員の協賛広告とし、７０周年の節目を担う役員の証として誌面にその名を残して頂くことを願って協賛のお願いを決議しました。

(5) 役員の増強について

一昨年まで９０名近くの役員構成でしたが、現在７０名と減少の一途にあり、役員一人ひとりが知人の後輩を推薦して頂くことをお願いしました。

(6) 記念誌編集担当者の活動手当てについて

記念誌の編集を担当する役員に対し、月額２万円を上限として活動手当てを支給することの承認を頂きました。

なお、本件は「会務運用細則」第３項に、「(2) 当会の特別企画の役割を担う役員には、その負荷状態を勘案して「活動手当」を支払う。支給金額については、正副会長会議にて決定する。」

を文書化、追記することの承認を頂きました。

(7) 今後の事業遂行について

1) スポーツ振興

★全国高校駅伝大会（男子・鳥栖工高、女子・白石高校）・・・12 月 20 日開催
（京都＝無観客開催）

★全国高校ラグビーフットボール大会
（佐賀工高）・１２月２７日第一試合
（東大阪・花園＝無観客開催）

★全国都道府県対抗女子駅伝大会
1 月 12 日開催・中止決定

2) 第６回同窓・同郷会代表者交流会

2/14（日）開催予定～コロナ禍の状況を見て、年明けに開催可否を決定することとします。1/10 中止としました。

3) 第２９回正副会長会議開催

2/6 開催は、3/6 に変更しました。

4) 正副部会長会議開催

コロナ禍の状況変化を見て開催日時を決定することとしました。

以上、７項目にわたっての報告、提案事項の全てについて、出席役員３５名全員一致の承認を頂き、南里副会長から閉会の挨拶を頂いて終了いたしました。

このあと、別室で集合記念写真撮影をして、同ホテル特製の弁当を頂いて閉会致しました。

このような会議は全員がはじめての体験でありましたが、二度と再現して欲しくない臨時役員会でした。（事務局）

第 27 回正副会長会議開催

去る９月１２日（土）、佐賀県関西・中京事務所会議室において、第２７回正副会長会議を開催しました。コロナ禍で開催を危惧いたしておりましたが、重要議題を抱えており正副会長全員に出席して頂きました。

会議では、次の議案について審議、決議をいたしました。

<議　案>

(1) 会報第11号発行について

各事業計画がコロナのために中止しており、誌面編集を心配していましたが、特集「コロナ禍の私」を企画して、副会長有志の皆さんと役員の方から投稿頂いて、これまでにない誌面が出来ましたことと、会員の皆様へ予定通りお届け出来ましたことを報告しました。

(2) 会報発行による財源

①広告協賛金として、本年度（第１１号、１２号掲載）は２８社から１１５万円を拝受。

②協力金として、上半期（第１０号）は２３０名：４７８千円を拝受

③本件は、会報第１１号の誌面６頁にご芳名を掲載したことを報告しました。

(3)創立７０周年記念事業について

去る８月２２日、７０周年記念準備委員会の初会合を開催し、記念事業の骨格について具体化した旨を報告しました。

① ７０周年記念式典のプログラム
② 記念誌編集担当者の選任について
③ 現職役員（２０年以上）への感謝状贈呈
④ 歴代会長の消息と関係性の検証
⑤ 臨時役員会開催（12/6）について

(4)その他

役員会、同窓・同郷会代表者交流会等の開催会場について、懇親会費を参加者の手弁当で賄っているも、会場費が５千円以上のホテルがほとんどであり、苦慮いたしておるところに「大阪ガーデンパレス」の飛込営業でご縁ができそうで、本日、会議終了後に正副会長全員で同ホテル（新大阪）を訪問し、会場見学を兼ねて懇親会を開催しました。

次回は、１１月２８日（土）の午後開催を確認して散会しました。（事務局）

↑小会議室　↓大宴会場

第28回正副会長会議開催

去る１１月２８日（土）の午後、県事務所において第28回正副会長会議を開催しました。

コロナ禍ではありましたが、岡名誉会長にも出席頂き、全１０名が集い、次の議案について審議、決議致しました。

【議　案】

(1) 令和２年度事業（中間）報告
(2) 同　　　収支会計（上半期）報告
(3) 創立７０周年記念事業について
　1）創立７０周年記念式典の骨子
　　① 記念式典のプログラムについて
　　② 現職役員（２０年以上関与）感謝状贈呈
　2）記念誌の編纂
　　① 表題『関西で支え合った７０年』
　　② 誌面構成

◆第１編　未来永劫の存続発展を期して
～会長ご挨拶「創立７０周年を迎えて」
～祝辞「７０周年おめでとうございます」
　・佐賀県知事、県議会議長、国会議員：８名、１０市の市長、１０町の町長、
～グラビア「創立７０周年記念式典挙行」
～創立７０周年に寄せて
　副会長：７名、顧問：２名と専務理事

◆第２編　関西で支え合った７０年の歩み
～昭和２６年設立、江崎利一初代会長
～歴代会長、副会長、専務理事の紹介
～若者たちの宿舎「佐賀県関西寮」
～佐賀県産業教育振興会の活動
～総会・ふるさと交流会のあゆみ
～特別企画事業
～同窓・同郷会との連携
～スポーツ振興事業

◆第３編　事実に基づく、データで語る
～佐賀県関西・中京事務所との関わり
～歴代役員の記録
～当会の活動の記録
～会則

～総会・ふるさと交流会の参加者の推移
～会報の発行

◆第４編　協賛広告の御礼
～佐賀県との所縁の団体・企業様
～同窓・同郷会様
～現職役員一同

協賛広告の誌面は次の５種を設定

A	全面広告（A４）	協賛金	５万円
B	1/2 誌面広告	同	３万円
C	1/4 誌面広告	同	２万円
D	名刺広告	同	１万円
E	ご芳名広告	同	５千円

D，Eの誌面は、現職役員および特別会員の協賛広告とし、７０周年の節目を担う役員の証として誌面にその名を残して頂くことを願って協賛を要請

③　記念誌の発行時期

6/27 開催の記念式典を誌面に織り込んで、８月下旬に配本する。

(注) 10/31 に順延のために12月上旬配本に変更。

(4) 役員の増強について

役員はこの３年間で、９０名から７０名へと減少しており、役員お一人ひとりがみずからの後輩諸氏を推薦頂くよう要請致しました。

(5) その他

次回は、２月６日（土）開催とするも、コロナ禍の状況を見て開催可否の判断をして連絡することとする。

（注記）コロナ禍「緊急事態宣言により、会議開催は１ヶ月順延して、３月６日（土）に開催しました。　　（事務局）

社会を、地球を、未来を豊かに。
T·gami
株式会社 戸上電機製作所
代表取締役社長　戸上　信一
本　社
〒840-0802 佐賀県佐賀市大財北町1-1
TEL(0952)24-4111　FAX(0952)26-4594
関西オフィス
〒564-0053
大阪府吹田市江の木町12-5
（大阪戸上ビル）
TEL(06)6386-8961
FAX(06)6338-1375
https://www.togami-elec.co.jp/

ご協力金有難うございました

本誌第１１号をお届けして、沢山の会員の皆様から「ご協力金」を頂戴いたしました。今後の事業運営資金として有効に活用させて頂きます。ここに御礼の記しにご芳名を記載し、ご報告とさせて頂きます。　（事務局）

記

（注）五十音順に記載いたしております。

＜敬称略＞

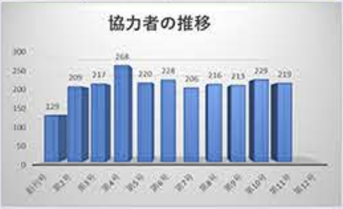
令和3年1月8日現在

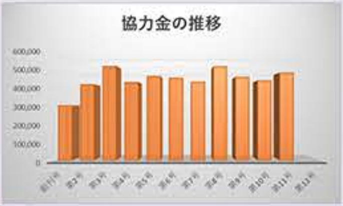
相原みどり・青木兵庫・畦中祐治郎・荒木正晴・
井崎雅大・石橋和子・石丸盛之・石本博美・稲富弘満・
井上由美子・井上秀昭・井上伸二・今井照磨・今泉和彦
入江繁美・岩瀬　明・岩永建保・内田康彦・梅野勲夫・
江口幸文・江里口義人・遠藤孝良・遠藤せい子・匿　名・
大石猛、美佐子・大塚辰美・大坪貞雄・大坪洋子・
大手玲子・大友由美子・大屋　清・岡　武敏・岡本佐代子・
岡山裕美・小川勉生・小川里美・奥シゲ子・奥　勝利・
奥川静治・小田輝雄・於保博幸・桟　行雄・片渕テル子・
門谷　宏・楞野正憲・兼原アツ子・嘉村秀吉・加茂五男・
川崎春代・川崎博章・川原利夫・菊地義照・岸川英司・
木須和子・北川マサ子・北原たけよ・北村彰茂・
空閑文彦・草場宣雄・黒川時彦・黒木賢一郎・黒田房子・
古賀幹雄、光子・古賀博美・古賀幸弘・佐伯信行・
㈱佐賀玉屋・㈱佐賀鉄工所・坂本順一・坂本俊宣・
定松　武・佐藤久美・佐藤智美・重吉映子・島　和男・
島田　實・島ノ江繁吉・城　利隆・生部初男・白川光弘・
白川寛治・白浜史子・新谷一代・杉山洋子・諏訪晴子・
園田　侍・㈱太一郎窯・田口常馬・武雄圭一郎・
武島精肉店・武田靖子・武富勝利・竹村　基・田実常義・
田島三左枝・田島健一・田代清・多田眞利子・田中　隆・
田中　實・田中善吾・田中矩子・田中秀直・谷川美代子・
築地輝夫・辻井寄子・辻村利子・堤喜美江・常行博信・
鶴田定司・寺本眞知子・徳川政臣・富永吉信・鳥谷茂幸・
中島好昭・中島則夫・中島和秀・中谷和子・中西正治・
中野弘正・中原　修・永松一敏・永松典子・永松真澄・
中村　司・中村義一・中山鉄司・南里節子・西本八千代・
仁田邦男・野口文夫・野口勝朗・野田滋大・野田大介・
野中信夫・野中壽嗣・橋間元徳・橋本和博・八田信男・
原川寿子・樋口保成・日高幸子・日野睦男・
百武イサ・百武郁子・平山敏之・廣口征男・深川義隆・
深川　悟・深町佐代子・福井良子・福島正信・福永弘之・
藤永隆介・藤野トシ子・藤弥文枝・藤弥咲子・古崎良子・
船津丸ミツエ・堀文夫・堀上正人・前田庄介・前田和義・
増田精三・松尾　博・松尾弘之・松尾正則・松尾定幸・
松尾國善・松尾健次郎・松尾忠彦・松林　淳・松本茂幸・
松雪芳信・松雪淳子・三嶋孝之・溝上文夫・溝口光子・
三根角雄・峰松和盛・宮崎公彦・三好常紀・向　政文・
㈱村岡総本舗・毛利明彦・本告義弘・本野弘文・
本村康夫・本山幸一・森　茂・森田邦夫・八木悠久夫・
矢次　馨・山岡茂年・山口秀則・山口真知子・山下善孝・
山田輝文・山田　廣・山田　實・山田征雄・山田良子・
山田恵子・山領耕造・山本貞夫・山本しげ子・吉岡英治・
吉川律子・㈱ヨコオフーズ・吉崎たづ子・吉田富子・
吉富壽泰・吉永奈保美・吉丸和英、みゆき・吉村照治・
吉村昭信・米村　誠・若林　稔・和智ちさと

以上219 名：　492.000 円拝受

創刊号から第11号までの協力金と協力者数の推移

号番号	協力者数	協力金	発行年月
創刊号	129	308.000	H27.9
第2号	209	426.000	H28.3
第3号	217	529.000	H28.9
第4号	268	439.000	H29.3
第5号	220	472.000	H29.9
第6号	228	463.500	H30.3
第7号	206	440.500	H30.9
第8号	216	528.000	H31.3
第9号	213	468.000	R01.9
第10号	229	448.000	R02.4
第11号	219	492.000	R02.9
第12号			R03.3
計	2.354	5.014.000	





コロナ禍で“ふるさと”を想う

野田大介（理事）

“ふるさとは遠くにありて思うもの”と謳った詩人がいました。私も郷里を離れて６０年になり、思いは同じになりました。

そして、コロナ禍にあって籠る日々が多く、つい「わが故郷」への想いが走馬灯の如く蘇りました。

県人会が今年創立70年の節目を迎え、記念誌を発刊することになり、私も「佐賀再興」をしてみたくなり、「採光」する場所とか食を「再考」していたら、“ふる里散歩”になりました。

●佐賀の人口より多くの人が集まる「**バルーン大会**」が開催される嘉瀬川河川敷までは自転車で約10分。わが家の上空をバルーンが飛んで行きますから、庭先でも見ることが出来ました。

古代文化の最先端だった「吉野ヶ里」遺跡には数年前に見学に行き、案内人の説明を聞いて当時の佐賀地方の文化の高さを知り驚きの連続でした。

小さいころ、佐賀神社のお祭り「日峯さん」では人の多さと縁日に目を奪われ、小屋掛けの首長お化けの前ではおののき、迷子になったことも思い出されます。

●高校の友達に誘われて行った「**唐津くんち**」の曳山での「エンヤーエンヤー」というかけ声は今でも耳に残っています。

大きなリュックを背負い母の荷物持ちに国鉄（現ＪＲ）有田駅から西有田駅まで歩いた道のりは、子供の私には辛かった思い出です。ジャパーンシルクと言われた「伊万里焼・有田焼」は日用品でしたが、他府県から観ると贅沢品らしい。大阪人にちょっと自慢話ができますね。

●お正月、鹿島の「**祐徳稲荷大社**」の初詣。まだ駐車場が狭い時代に行って長蛇の列にうんざりしたものです。一間社流造の壮観美は今尚鮮明に目に焼き付いています。

●童子も雀も論語をさえずる多久の町「**多久聖廟**」。日本三大古木、武雄川古にある3,000年の大楠はまだ見に行っていません。

●長崎街道の伊勢屋町に勧請した「佐賀伊勢神社」は、一度はお参りしたいと言われる本宮の伊勢神宮への代参にしてもいいですね。

●神武天皇の生母を祭神とした川上の「与止日女神社」は佐賀の一宮です。神功皇后は三韓征伐の後に体を癒しに行ったお陰で第１５代応神天皇を生みます。丈夫な体になる温泉が「**武雄温泉**」でした。私も一度は体を癒しに行きたいものです。

見に行った場所、行ってみたい場所も沢山あります、なにより佐賀は四神に囲まれた素晴らしい場所です。

北に玄武の山々、「天山」「背振山」、東は青龍の「筑後川」、南は朱雀の大湖「有明海」、西は白虎の大陸文化への入口「西道」になります。

これらは、古代王城にしても良い環境です。今さらながら「佐賀さいこう！」（最高、再興、再考、催行、採光、採鉱、彩光、再校…）。コロナが明ければ、友達と「佐賀さいこう！」よと話しながら思いはふるさと佐賀に馳せています。

株式会社 日本電機研究所
代表取締役会長兼社長 福地裕文
＜創業者 福地武史:大町町出身＞
nilken 制御システムの専門メーカー
551-0031 大阪市大正区泉尾7−1−1
TEL06-6552-1471／FAX06-6554-0847

TAFT
TAFT
らしく、ともに、軽やかに
Light you up
DAIHATSU

<その1>佐賀で生まれた『葉隠』と新渡戸が米国で著わした『武士道』を読んで

吉村照治
功労会員（前常任理事）

●江戸中期の享保元年（1716）、武士道の教本と言うべき『葉隠』に関する本が、いま地元佐賀や東京佐賀県人会で脚光を浴びている。話題の書は550頁に及ぶ大作『いまこそ葉隠』である。作者は最近72歳で他界した唐津市出身の大草秀幸。

前者の江戸期『葉隠』は、現在原本はなく写本があるのみ。口述者山本常朝、筆録者田代陣基２人の藩士の合意で成立。藩主の命令や世に出す目的は全然なかった秘中の書。序論の「夜陰の閑談」における“四誓願”（①武士道において遅れ取り申すまじきこと。②主君の御用に立つべきこと。③親に孝行を仕るべきこと。④大慈悲を起こし人の為になるべきこと。）が、その神髄をよく表している。いまや古典の名著と称せれる所以でもある。

後者の大草著『葉隠』の内容は、明治末期から今日に至るまで、多くの歴史家、小説家、評論家らが挑んだ江戸期『葉隠』について、その解釈、解説、研究をジャーナリスト経験の眼から読み解き、解説、論評を加えた作品となっている。その狙いと動機は、次の幾つかの表現から理解できる。

「いまこそ古典を読み、汚れの目立つ日本の心を洗濯しよう」、「倫理の船に乗って、いまこそ船出しよう」、「慈悲の心をもとう」など。記述の中で小生が最も印象を深くし記憶に残った書は、大正５年、わが国の活版印刷本として初めて発行された『鍋島論語葉隠全集』である。作者は佐賀県の中村郁一。彼は既に明治３９年、初めての『抄録本葉隠』を出版し、武士達の精神・言行などについて述べている。

全文を収めた『論語葉隠』は武士達を鼓舞した勇ましい表現や語句が目立つ。「世間は道徳の観念が薄く、日本の精神文化が衰退している。人心の覚醒と道徳挽回の一端としてこの書を発刊する」旨を強調している。

これは江戸期『葉隠』成立の時代背景とよく似ていないだろうか。元禄の世、経済・文化が栄え、その後、泰平の御代が続き、酔いしれ安住しつつあった武士達に「武士の心得、武士の生き方」を説いた教訓書誕生の発想と一致しているように思われる。

『武士道』新渡戸稲造著（左）
『いまこそ葉隠』大草秀幸著（右）

●一方、明治３１年、教育者新渡戸稲造（1862～1933）が著わした『武士道』（BUSHIDO）について若干触れてみたい。彼は岩手南部藩出身の武士で東大教授、日米間の交換教授、国際連盟事務局次長を務めた国際人。米国滞在の３７歳の折、本書を英文で出版し世界的ベストセラーになったことはよく知られている。『武士道』を執筆するに至った動機は次のエピソードから判断出来る。

ある日、ベルギーの法学者、ド・ラブレーから、日本人の道徳教育や宗教教育の存在について質問を受けた。その場では「そのような教育はありません」と答えたが熟慮の結果、心の中に湧いてきたのが、子供の頃、武士としての「家庭教育」における躾や言動こそが教育であったと述懐している。例えば「義をみてせざるは勇なきなり」、「卑怯であってはならぬ」、「名を惜しむ」など。敷衍すれば、武士道の源泉は「孔子の教えの五徳＝仁・義・礼・智・信にある」とし、武士道の基本原理は「七つの徳＝義・勇・仁・礼・誠・名誉・忠義にある」と表現している。

結論として「武士道は日本の活動精神であり推進力であった。現に今日でもそうである」と主張していることに、日本人として共感を覚える。

86 サロンパス
貼って、寝て、きもちいい♪
Hisamitsu
サロンパス
40
サロンパス
肩こり、腰痛、筋肉痛に 第3類医薬品

これからも
感謝の気持ちを大切に、
皆様とともに
歩んでまいります
Tamaya SAGA
〒840-8580佐賀市中の小路2-5 ☎0952(24)1151
営業時間/午前10時〜午後6時30分

<その2>小楠公と佐野常民の博愛精神に学ぶ

　最近、大阪市・京阪天満橋駅近くの大川（旧淀川）沿いに建つ「小楠公義戦之跡」の石碑を訪ねることが出来た。この碑文を読み、わが故郷「佐賀七賢人」の一人、佐野常民（1822～1902）。日本赤十字社の父と呼ばれる偉業と関係があり、感動を覚え筆を執ることにした。

大阪・大川沿いに立つ、小楠公（楠木正行）の石碑と碑文

●歴史上の人物で、有名な大阪府河内長野市の楠木正成の子、正行（小楠公）の戦における美談について、南北朝時代に書かれた軍記物語『太平記』（1360年頃成立、小島法師作とも言われる）に次の様なくだりがある。

　「父正成亡きあと、南朝軍の主力として戦った正行は住吉（大阪市）の合戦で足利幕府を破った。京へ逃げ帰ろうとする足利勢が大川にかかる渡辺橋（現在は残っていない。天満橋よりやや下流に渡辺津の史跡がある）に殺到し、５００人以上が真冬の川に転落し溺れた。多数の敵兵を救出したばかりではなく、凍える者に薬や衣服を与え、数日養生をさせ、武具を失った者には装備を整えて京へと帰した」という。この記事は、日赤の社史や明治時代に使われた救護員養成の教科書に取り上げられている。前述の碑文には正行の行動美談が欧米人に感動を与え、明治２０年（1887）、日本が国際赤十字に加盟するのを容易にしたという内容が謳われていることは特筆される。

●佐野は幕末、楠公顕彰が盛んだった肥前佐賀藩の生まれ。若い２７歳の頃、渡辺橋の史跡からほど近い緒方洪庵の適塾で蘭学・医学を学んでいる。修行中、赤十字理念と重なる正行の博愛人道の精神に触れ、その後の博愛社の創立（明治１０年）、続く日本赤十字社への改称、設立（明治２０年）へとつながって行くきっかけ、要因になったのではないだろうか。

天満橋と天神橋の中ほどに立つ「渡辺津」の史跡

　従来、佐野に関する偉人伝、物語、小説などでは、初めて赤十字理念に出会ったのは、彼が代表を務めたパリ万博（慶応４年）であったと記されている。続くウイーン万博（明治６年）、イタリア弁理公使時代に至り、赤十字事業について、更に詳しく調べ帰国したと言われる。

●大正４年（1913）、「小楠公救敵兵」と題した一幅の絵が、英国で開催された赤十字国際大会に展示された。正行の戦場における博愛的行動の光景が描かれており、作者は歴史画家の父と呼ばれる小堀鞆音（1864～1931）である。彼は楠木父子を題材にした作品を数多く制作している。

　渡辺橋における敵兵救出の絵は、戦前に焼失したが、この絵を基に作られた絵ハガキが日本赤十字看護大学資料室に残されている。感動的な描写は一見に値する。

　いずれにしても、佐賀の賢人佐野の生涯を通観すると、「マルチ人間」そのものである。思い込んだらやり通す博愛の心と行動は高く評価されている。あだ名は“シブトイナマコ”とも言われた。

　多彩な能力を発揮し、日本近代化の先駆者であり、文明開化の立役者と称される所以は、次の異名で知ることが出来る。学ぶことが多く佐賀の誇りであり誉れである。

①　幕末回天の鬼才（小説『火城』の主人公）
②　日本近代化のパイオニア（佐賀藩精煉方の主任・32歳）
③　灯台の頭（灯台の基礎つくりに尽力・49歳）
④　万国博覧会の生みの親（パリ万博46歳・ウイーン万博・52歳）
⑤　龍池会、日本美術協会の会頭（日本美術の保護・66歳）
⑥　博愛社の創始者、日本赤十字社の父（66歳）

　これらのほかに、明治新政府における政治家としての活躍も大きい。元老院議長（61歳）など。

水とともに、人とともに。
これからも「社会に必要とされ続ける」
企業を目指してまいります。

MIZOTA
株式会社ミゾタ
取締役社長　井田　建

本　社／佐賀市伊勢町15番1号　TEL 0952-26-2551
大阪支店／淀川区西中島5丁目2-12-601　TEL 06-6886-2735

価値総創型メーカー
KMAC
ケィ・マック株式会社
代表取締役会長　中島寛明
（小城市出身）
1971年10月創業
グローバル　ネットワーク
地球から世界へ　世界から地球へ
◆グループ本社　532-0027 大阪市淀川区田川2-6-8
TEL06-6300-1041／FAX06-6300-1015
◆事業拠点　国内１２箇所、海外９箇所

スポーツ振興・激励と応援

全国高等学校駅伝競走大会

＜男子：第７１回、女子：第３２回＞

両校のチーム・監督に「激励金」を贈呈しました

大会前の１７日（木)、京都市内の宿舎を訪ねて、当会を代表して松尾正隆専務理事より、男子代表校・鳥栖工高の宿舎「金波楼」で、古川監督とチーム代表選手（４名）に、女子代表校・白石高校の宿舎「お宿石長」で、福島監督に、激励の言葉に添え激励金をそれぞれに贈呈致しました。

両校の監督は、前代未聞の“新型ウイルス“の蔓延に、”走る事“以上に感染の危惧の念を抱いて来京の思いを語って頂きました。

（事務局長：中島記）

↑鳥栖工高・選手代表に、白石高校・福島監督に↑
激励金を贈呈する松尾専務理事

男子２２位、女子２３位に終わる

昨年末、恒例の全国高校駅伝大会の季節がやってきました。今年は新型コロナウイルス感染収束の兆しが見えない中、開催が心配されていましたが、大会史上初めての「無観客開催」となり、去る１２月２０日（日）都大路で熱戦が繰り広げられました。

佐賀県代表は、女子（白石高校=昨年に続き 8 回目)、男子（鳥栖工業高校=11 年連続 45 回目)が出場、上位躍進を期待して多くの人達にテレビ応援を頂きました。その甲斐あって、女子は昨年の（２９位)から（ ２３位 ）へ大きく躍進。記録も昨年より（５５秒)縮める１時間 11 分 41 秒の快走となりました。

続いて午後から開催された男子の鳥栖工業高校は残念ながら昨年を上回ることは出来ませんでしたが、後半に追い上げを見せ（22 位）2 時間 06 分 01 秒でフィニッシュしました。優勝は男女共に世羅高校（広島）が栄冠を勝ち取りました。

今回はコロナ禍の為に京都西京極陸上競技場で繰り広げられる高校生ならではのブラスバンドやチアガールによる元気な応援合戦や全国から駆けつける故郷応援団の声援が無くて静かな大会となりましたが、この厳しい環境を乗り越えて練習に励み、激走を展開した白石高校と鳥栖工高の選手と全国の高校生ランナー達に改めて大きな拍手を贈りたいと思います。来年は例年どおりに、全国から応援団が西京極陸上競技場に揃い活気溢れる大会になることを願いましょう。

（広報幹事：於保記）

わたしたちにとって挑戦は常に未来進行形です。

株式会社 ワン・バイ・ワン
大阪府東大阪市今米2丁目1番39号　〒578-0903
TEL:072-968-1011（代）　FAX:072-968-1013
東京オフィス／ショールーム
東京都港区赤坂1丁目1番18号 細川ビル1F　〒107-0052
TEL:03-6229-1011　FAX:03-6229-1013
URL　:http://www.onebyone.ne.jp
E-mail:prosper@onebyone.ne.jp

SAGA TV
月～木　午後4:20～
金　午後3:50～
かちかちPress

第71回全国高等学校駅伝競走大会出場の御礼

謹啓　厳冬の候、皆様におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本校教育の充実発展につきましては、特段の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月20日（日）京都で開催された全国高等学校駅伝競走大会出場に際しましては、皆様より物心両面からの御厚情を賜り、心から感謝申し上げます。

お蔭をもちまして、部員29名は力を合わせ、伝統のエンジ色のユニフォームとともに、都大路で爽やかに心のタスキリレーを行うことができました。

今年のチームは、コロナ禍の中チームでまとまって練習できない期間も個人練習を積み重ね、自らに奉仕活動を課し、生活の中から心を磨く努力をしてきました。

そして、全国高校総体の代替大会である2020全国高等学校リモート陸上競技選手権では、1500mで1位と7位に入り、10月末に広島で行われた全国高等学校陸上競技大会2020でも1500mで6位と8位、3000m障害で8位に入賞するなどトラックレースでの活躍が目立ちました。また、5000m上位7名の平均タイムが14分19秒と、本校過去最高の記録を持つまでに成長しました。

全国大会の結果としては、序盤の高速レースに乗ることができず1区から出遅れ一時38位まで落ち込みましたが、粘り強い走りで徐々に順位を上げ、県大会の記録を30秒上回るタイムで22位でゴールしました。

残念ながら目標とする8位入賞には届きませんでしたが、今回順位を上げた4名が全て2年生で、新チームはさらにチーム力の向上がみられると考えています。

これからもさらに飛躍を目指して、新たな意欲をもって努力する所存でございます。

今後とも本校駅伝部を御支援いただきますようよろしくお願い致します。

また、他の部活動にあっても、日頃から練習に励み、その結果も出ていることが学校の活力にもなっておりますので、併せて御支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

末尾となりましたが、書中をもちまして御礼申し上げ、皆様の今後益々の御健勝を祈念し、略儀ではありますが御挨拶といたします。

なお、ささやかではございますが、出場記念の品を同封しておりますので御笑納ください。

謹白

令和3年1月吉日

佐賀県立鳥栖工業高等学校
ＰＴＡ会長　三宅　真太郎
同窓会会長　篠原　隆博
校　長　代居　正巳

SGホールディングス

時代が求める「機能配管」をトータルプロデュース。
TAK
株式会社 多久製作所　私たちは、配管総合プレファブメーカーとして環境と産業の未来に貢献しています。
本社　〒541-0053　大阪府大阪市中央区本町2丁目5番7号　TEL.06(6260)7080
九州工場　〒846-0012　佐賀県多久市東多久町大字別府1539　TEL.0952(76)3513
http://www.tak-ss.co.jp/

佐賀新聞電子版
データベース　昔の記事を検索
ウェブサイト　佐賀の今がわかる
紙面ビューア　いつでもどこでも読める
佐賀新聞社
本社　佐賀県佐賀市天神3-2-23　☎0952(28)2111　FAX.0952(29)7656
大阪支社　大阪市北区堂島1-1-5 梅田新道ビル12F　☎06(6347)4618　FAX.06(6347)4620

第１００回全国高等学校ラグビーフットボール大会
佐賀工高８強ならず３回戦で敗退

今年はコロナ禍の最中で開催される特別の年となり、開会式は中止となり、また無観客での開催となりました。例年は第一試合の直前に練習場で激励金を贈呈しておりましたが、今回は第一試合の前日、２６日（土）に毎日新聞社大阪本社で打合せ会議で梅田に来られるとのことで、その会議終了後に当会を代表して古賀幹雄副会長から仁位先生（ラクビー部部長）へ激励の言葉を添えて贈呈致しました。

仁位先生から「昨年を上回る成績で終わります」と自信溢れる顔で答えて下さいました。

←古賀副会長から仁位部長へ激励金を贈呈
～毎日新聞社ロビーにて

初戦突破！対大津緑洋校(山口県)に64:0の快勝

翌２７日（日）、大阪花園ラグビー場で史上最多の６３校が参加して、1月９日まで１４日間の熱戦が繰り広げられました。そして、佐賀工高は初日の第一試合に臨み、山口県代表の大津緑洋高校と対戦し、６４：０で快勝しました。

佐賀工高、花園に沈む

次の２回戦は３０日(水)、午後３時４５分から大阪代表の強豪・東海大大阪仰星高校と行われました。相手チームは優勝候補とあって、なかなか体制を崩せない状態が続き、前半３トライ２ゴール、後半２トライ１ゴールを許し残念ながら７：３１で敗退となりました。

しかし、佐賀工高は後半３２分に意地のトライとゴールを勝ち取り、来年につなぐ結果を残しました。来年は佐賀早稲田高校もラグビー部を４月に創設して、３校での戦いとなりますが、来年も出場されることを願っています。

（事務局長・中島記）

ラグビーフットボール部・仁位岳寛部長様から

先日は激励金を頂きありがとうございました。１回戦は順当に勝つことができましたが、２回戦は残念ながら勝利することはできませんでした。大阪のチームのレベルの高さを痛感いたしました。

２回戦の写真をお送りしますのでよろしくお願いいたします。

ラインアウトでボールをキャッチする写真（上）は３年生主将の内川朝陽です。ボールをもって突進している写真（下）は新主将の永池海音です。

社労士法人
労務管理　中村事務所
貴方の企業を繁栄させるサポート法人
企業に合った就業規則作成・給与計算サポート
働き方改革によるサポート・人事労務に関する相談・指導
社会保険労務士　中村昭彦
（佐賀市出身）
550-0014　大阪市西区北堀江1-22-20　2F
ＴＥＬ06-6531-5411　ＦＡＸ06-6531-5476
URL http://www.nakamura-sr.com

大隈重信も愛した
元祖 丸房露
1639 年創業
佐賀藩より御用御菓子司を仰せつかり以来、家業として暖簾を守り続けております。
鶴屋
840-0046　佐賀市西魚町１番地
TEL　0952-22-2314

第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会出場御支援のお礼

拝啓　立春の候、皆様にはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろから本校教育の振興につきまして格別のご指導とご支援を賜り、誠に有り難く厚くお礼申し上げます。

第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会への本校ラグビー部の出場に際しましては、温かい御支援と御芳志をいただき大変ありがとうございました。

今回は100回大会ということで出場校が63校となり、39年連続49回目の出場となった本校ラグビー部は、1回戦からの出場で12月27日のオープニングゲームとなりました。対戦相手は山口県代表大津緑洋高校となりました。試合は、前半5分に先制トライを挙げ、勢いに乗った攻撃で着実に得点を重ね、前半戦を35対0で終えることが出来ました。後半戦も、連続攻撃から開始1分にトライを取り、その後も着実に得点を重ねた結果64対0で勝利しました。リザーブ8名の選手交代をして花園の舞台に多くの選手が出場することが出来ました。

12月30日に3回戦進出をかけて、Aシードで選出されている大阪府代表の東海大学付属大阪仰星高校と対戦しました。試合は序盤から攻め込まれ苦しい展開が続き、相手の連続攻撃から巧みなキックで防御の隙を突かれ、トライを許します。その後も、相手の上手い試合運びに苦戦を強いられ0対19で試合のペースが掴めない状況でしたが、前半25分から佐賀工の反撃が始まり連続攻攻撃で相手陣を5mまで迫りチャンスを向かえます。前半終了間際に、トライチャンスが生まれましたが、もう一押しが出来ずにそのまま前半終了となりました。後半も2トライを許し、0対31となりましたが、試合終了間際に闘志あふれるプレーで意地の1トライを挙げて7対31となり試合が終了しました。

今年はベスト8以上を目指して頑張ってきましたが、悔しい敗退となりました。

ラグビー部では、帰佐早々新チームを編成し、今回の戦いで得た教訓を生かすべく次なる大会に向けて猛練習に励んでおります。これからも皆様の更なる御指導と御支援を伏してお願い申し上げます。

末筆となりましたが、皆様のなお一層のご隆盛を心から祈念申し上げ、略儀ながら書中をもってお礼申し上げます。　　謹言

令和３年２月吉日

佐賀県立佐賀工業高等学校
同窓会長　富﨑 三郎
教育後援会長　大宅 正剛

For the Tasty Century
Miyajima
宮島

宮島醤油株式會社
【本　社】佐賀県唐津市船宮町2318番地　TEL 0955-73-2151
【大阪出張所】大阪府吹田市広芝町9番12号第3マイクビル604号　TEL 06-6319-9836
http://www.miyajima-soy.co.jp/

人の気持ちと企業の声に応えます。
弁護士法人
近畿中央法律事務所
代表社員弁護士　岡　豪敏
541-0053　大阪市中央区本町1-7-7
WAKITA 堺筋本町ビル４Ｆ
TEL(06)6229-0707／FAX(06)6229-8844

佐賀県関西・中京事務所からのお知らせ

「佐賀支え愛」応援キャンペーン実施中！

～佐賀の特産品をみんなで買って想いを届けよう～

＃佐賀支え愛

佐賀県では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた生産農家などを応援するキャンペーンを展開しています。外出自粛中の今、佐賀の魅力をご家庭でお楽しみください。

佐賀牛®

◇佐賀牛、佐賀の農産物などの注文は… さが風土館季楽 ℡ 0120-894-151
https://www.ja-town.com/shop/c/c8101/

◇呼子のイカなど玄海モノの注文は‥佐賀県玄海漁協 ℡ 0955-72-2160
https://www.rakuten.co.jp/sagagenkai/

呼子のイカ

◇佐賀の銘菓や産品は…「アマゾン佐賀フェア」で検索
https://www.amazon.co.jp/

「SAGAマルシェ」https://www.rakuten.ne.jp/gold/sagamarche/

「SAGA BARオンラインショップ」https://www.sagabar.shop

【佐賀県イベントの予定】

お出かけください！

○「佐賀さいこう！フェア」
と　き：3月17日（水）～　21日（日）《5日間》
ところ：阪急うめだ本店B２生鮮売り場「京都八百一」
内　容：県産ブランドイチゴ「いちごさん」、今年デビューのブランドみかん「にじゅうまる」等旬の青果物の販売

さがん酒

問い合わせ先　佐賀県関西・中京事務所　℡ 06-6344-8031 ✉kansaichuukyou@pref.saga.lg.jp

７０周年記念事業・準備委員会開催

去る１０月１０日（土）の午後、県事務所会議室において「第２回準備委員会」を開催しました。

創立７０周年記念誌『関西で支え合った７０年』編纂の全体像が見えてきたので、誌面構成について議論を重ねました。

全１３０頁の誌面を４つの編に分ける。

◆第１編　未来永劫の存続発展を期して
◆第２編　関西で支え合った７０年の歩み
◆第３編　時事に基づく、データで語る
◆第４編　協賛広告の御礼

この構想を 11/28 開催の正副会長会議にはかり、12/6 開催の臨時役員会で審議、承認を得て各論の展開を図ることとしました。　　（事務局）

正副会長会議で 6/27 開催の順延を決議！

コロナ禍の緊急事態宣言が解除された後、去る3月6日（土）の午後、第29回正副会長会議を開催し、『創立70周年記念の集い』開催（6/27）の可否について審議の結果、会員の皆様の安全・安心を考慮して、10月31日に順延することで決議致しました。コロナ禍が完全に終息していることを願って、皆様に元気なお姿で集って頂けるようお待ちいたします。　　（事務局）

あとがき

●県人会・会員の皆様には感染の情報等もなく、安堵しておりますが、その後お変わりございませんか？当会ならびに交流の各組織の計画も2月までは、すべてが中止となりました。本会報もすべての行事が行われなかったので、誌面が空っぽになるのではないかと心配しておりましたが、いざ誌面編集に取りかかると、あれやこれやで、結局全16頁と、いつもの会報に仕上がりました。

●今年は、当会の創立70周年の大きな節目を迎え、記念誌「関西で支え合った70年」の編纂をいたしております。コロナ禍のお蔭？で、外出の機会が減った分、デスクワークが出来て、過去の活動の変遷がほぼ8割方誌面になりました。刊行は「創立70周年記念の集い」が終わったあとの予定です。12 月初旬にはお届けしたいと念じて頑張っております。

●会員の皆様との一層の誌面通信、コミュニケーションの広場として「会員からの投稿」をお待ちいたします。佐賀んもんの気概と会報にかける情熱を期待してやみません。タイトルは佐賀に関するものであれば"自由"です。お気軽にお寄せ下さい。　　（松尾記）

＜原稿の送付及び問合せ＞　県人会・広報部会「担当:於保（おほ）」
Tel:090-7106-5395　/　Fax:06-6875-3272
<E-mail:　the.karatsu.2988-201@drive.ocn.ne.jp>

香蘭社
代表取締役社長　深川　祐次
550-0013　大阪市西区新町 1-2-13 新町ビル 2F
TEL　06-6578-1721　FAX　06-6578-1717

古賀税理士事務所
所長　古　賀　幹　雄
（佐賀市出身）
530-0012　大阪市北区芝田 2-2-13
日生ビル東館４０５号
ＴＥＬ　06-6377-5091　ＦＡＸ　06-6377-5093

企業理念　常在　お客様貢献
松尾建設株式会社
MATSUO
代表取締役社長　松尾哲吾
大阪支店長　井田　了
532-0011　大阪市淀川区西中島 5-9-1
新大阪花村ビル４Ｆ
TEL 06-6838-4457／FAX 06-6885-2771

藍鍋島の伝統を受け継ぎ、手描きの妙に現代感覚を取り入れ、真心込めて創り上げております
藍　鍋　島
株式会社太一郎窯
代表取締役社長　冨永十喜信
848-0025 佐賀県伊万里市大川内町大川内山
TEL(0955)22-4603/FAX(0955)22-4605

八頭司合同司法書士・土地家屋調査士事務所
代表司法書士・土地家屋調査士　八頭司将直
司法書士　八頭司幸光（大和町出身）
540-0033 大阪市中央区石町 2-1-7-904
TEL06-6942-4041／FAX06-6946-9150

磁器の総合オートクチュールメーカー
岩尾磁器工業株式会社
（佐賀県有田町）
代表取締役社長　岩　尾　慶　一
大阪営業所所長　越智正司
530-0044 大阪市北区東天満1-7-17 東天満ビル10階
TEL 06-6353-6174　FAX 06-6354-0670

深川製磁
深川製磁株式会社大阪店
店長　永　尾　誠
541-0047 大阪市中央区淡路町 4-3-8
タイリンビル１階
TEL 06-6226-5211／FAX 06-6226-5212

株式会社 立石構造設計

凛として
朗らかに
爽やかに
理事長
篠塚周城
学校法人 佐賀龍谷学園

倫理指数日本一をめざして
敬徳高等学校
学校法人伊万里学園
理事長 谷口太一郎
佐賀県伊万里市立花町 86

集まろう！佐賀んもん
「関西佐賀県人会」
事務局　大阪市北区梅田1丁目3番1−900　大阪駅前第一ビル9F
佐賀県関西・中京事務所内
会長　八田信男（佐賀市出身）
TEL06-6136-7850/FAX(06)6136-7940
専務理事　松尾正隆（伊万里市出身）／事務局長　中島和秀（嬉野市出身）　事務局　毛利晴世（佐賀市出身）・塩塚順子（伊万里市出身）
会報編集責任者:松尾正隆／編集担当:於保博幸（唐津市出身）・本山幸一（伊万里市出身）・井上翔太（伊万里市出身）

◆ホームページは「関西佐賀県人会」でご覧になれます。　http://kansai-saganmon.sakura.ne.jp/